

新潟県陸産貝類の再調

江 村 重 雄

Review of the Land Mollusca of Niigata Prefecture, Japan

By

Shigeo Emura

まえがき 人類は自己の種族繁栄の必要から自然を開発し、動物・植物の生活環境を急変させる。この環境変化に適応できる生物は人生に有益・無害・有害とは無関係に繁栄の道を辿る。しかし人類文化の進展に同調し得ないものは、自然界のものでも、人類が苦心して育成した過去の有用生物でも漸減或は滅亡する。

著者は昭和初年頃から実験室内ではオナジマイマイなどを飼育して生殖・遺伝関係を研究し、野外では蝸牛殻色の集団遺伝学的解析を行うとともに、陸産貝類の分布状況をも調査し昭和7年に新潟県産陸産貝類を世に問うた。

その後約40年を経過した現在では、自然開発は更に急速に進められ、緑の森は一夜で姿をかれ、青い沼は埋立てられて農地・工場住宅地となり、逆に溪谷がせきとめられてダム湖と変じた所も多い。一方薬毒物の利用も高度に進み生物群に何等かの変化を与えている。陸産貝類もこれら自然環境の変化に対して栄枯の道を辿っている。ここに過去から現在までの採集の跡を示しておくが、古い採集物の中には生息地の消失などのために既にその地点から絶滅したものもあると思うが、研究者の将来の参考資料にと記録しておく。

新潟県は東北から南西に細長くヘチマ型になっており、西方は日本海に面し東と南とは山岳にとりかこまれ、佐渡と粟島との二島を含む。海岸線は本土分で 298km, わが国最大の離島佐渡では 227.2km, 粟島では 21.6kmで合計 546.8kmと長い。これらの海岸は対島暖流の影響により温暖多湿である。

一般に陸貝の生活に適した地域は島嶼及び海岸地方、温暖多湿の土地、石灰岩地方、広葉樹林などがあげられる。本県の海岸線が長いことは北地の割合に陸貝類が多く、サドムシオイ・サドギセル・サドキビ・サドマイマイ・アワシマケマイマイなどの個有種も多い。また越後では岩船郡勝木、柏崎市宮川、西頸城郡能生などの広葉樹に富む社叢、西頸城郡青海、東蒲原郡津川などの石灰岩地方も陸産貝類のよい生活場所である。

採集史 新潟県の貝類を学界に紹介した初期の人に英国海軍々医 Arthur Adams がある。彼は英国水路測量船 Actaeon号に乗り込み多くの海陸産貝類を採集して帰国し、明治元年(1868) Ann. Mag. Natural History を始めとして 2—3 の雑誌に数十回にわたり報告した。この船は上海を本拠として 3 回東亜の諸海を巡航しているが、その第 1 回は主として日本海の諸沿岸を航行した。即ち安政 6 年 (1859) 5 月より巨文島を振り出しに対島・釜山・鬱陵島・浦塩・函

館・利尻・礼文・宗谷・樺太更に函館・飛島・粟島・新潟・佐渡・舩倉島・七ツ島・隠岐・釜山・対島を経て12月上海へ帰着している。

安政6年10月21日山形県の飛島を出帆した英艦 Actaeon 及び Dove は翌22・23の両日粟島に颱風をさけたが、不幸にも錨を切られて佐渡の東方に漂流状態を続け、遂に佐渡を1周し、10月31日再び粟島に現われ11月3日より6日まで新潟沖にあり同7日佐渡に向い11月13日に西方隠岐の方面へ去る。この24日間の苦闘は“Sado Quadrille”の言葉で記録されている。

Adams がこの間に粟島で採集した陸貝は次の如し。

Helix (*Plectotropis*) *ciliosa* Pfr., [probably an error]

Helix (*Plectotropis*) *setocincta* A. Ad.,

Helix (*Plectotropis*) *scabricula* A. Ad.,

Clausilia pluvialis Bs., [doubtless an error]

Clausilia valida Pfr., [doubtless an error]

Clausilia stimpsoni A. Ad.,

また佐渡では

Tomichia japonica A. Ad.,

Japonia citharella (Gould)

Helix (*Plectotropis*) *setocincta* A. Ad.,

などを採集・報告している。

日本貝類学界は明治の初頭頃までは外国人の研鑽に任せた状況だったが、明治10年東京大学の発足の頃から学校その他の官人が研究を進め、民間にあっては平瀬与一郎先生(1859—1925)が斯学の発達に貢献し、多年にわたって私財を投じてわが国各地で採集調査を行った。

佐渡には平瀬の採集者中田次平、榊原哲人が明治35年10・11月頃に渡島して全島を採集し次の新陸貝を発見した。

Helicina sadoensis Pilsbry & Hirase, サドヤマキサゴ, 関

Japonia sadoensis Pilsbry & Hirase, サドヤマトガイ, 新穂

Alycaeus harimensis sadoensis Pilsbry & Hirase, サドムシオイ, 小木

Clausilia sadoensis Pilsbry & Hirase, サドギセル, 宿根木

Kaliella harimensis sadoensis Pilsbry & Hirase, サドキビ, 小木城山

Kaliella zenica Pilsbry & Hirase, サドタカキビ, 宿根木

Eulola (*Euhadra*) *sadoensis* Pilsbry & Hirase, サドマイマイ, 外海府

このほかヤマキサゴなど11種の陸貝をも採集報告されている。

粟島には明治36年(1903)羽前西郷²⁾在住の大滝五百太が平瀬の採集者として渡り陸貝ならびに少数の海産貝類を採集された。陸貝は介類雑誌第3巻第3号(明治42年)によれば9種があげてある。

Palaina (*Adelopoma*) *pusilla* (v. Martens), ヒダリマキゴマガイ

Chamalycaeus pilsbryi (Kobelt), ピルスムシオイ

Paludinella japonica (Pilsbry), var. ヘソカドガイ

Petalochlamys dulcis (Pilsbry), オオヒラベツコウ

1) Blakeney, W., On the Coasts of Cathay and Cipango, forty years ago. p.209, 1902 及び Pilsbry, Proc. Acad. Nat. Sci. Philadelphia, 1902, p.235 による。〔 〕内は Dr. Pilsbry の註である。

2) 羽前(山形県)には西郷村が数村あった。大滝の居住地は西田川郡西郷(現大山町)で南村山郡西郷(現上市市)でも採集している。地名は後の研究者のために詳記を切望する。

Trishoplita (?) *commoda* (A. Adams), マメマイマイ

Eulota (*Acusta*) *sieboldiana* (Pfeiffer), ウスカワマイマイ

Aegista (*Pleototropis*) *pannosa awashimana* (Pilsbry & Hirase), アワシマケマイマイ
〔Adams の *H. (P.) scabricula* か〕

Hemiphaedusa micropeas perpallida (Pilsbry), ウゼンヒメギセル
〔Adams の *C. stimpsoni* か〕

Phaedusa (*Stereophaedusa*) *japonica* (Crosse), ナミギセル

明治40年4月には新潟県立及び県下郡立の中等学校（師範学校・中学校・高等女学校・農学校など）の博物科担任教師が中心となって新潟県博物調査会が結成され県下各地の動物・植物・鉱物などの調査研究が花々しく遂行され、その会誌第1号は明治41年に発刊された。以来大正2年3月第6号まで毎年その調査結果を公表している。調査員は50数名にのぼっているが、田代開市・諸橋真一郎・畠山久重・丸山忠次郎・平田竹弥・中村正雄・小林量平・梶谷才吉・吉川純三郎・板倉安平・坂根抵次郎・柳川石次郎・山口紋之助等は数回以上にわたり報告をのせている。

中村正雄はこの新潟県博物調査会の調査研究結果に、彼自身の多くの採集品を加えて、大著編を編集し新潟県天産誌とし大正14年末に公表した。その中に陸産貝類20余種をあげている。

昭和7年江村は旧制新潟高等学校の自然研究第1号に新潟県産陸棲貝類を同第2号（1933）に越後粟島の貝類を報告した。この頃から江村は県内外のオナジマイマイの分布ならびに蝸牛類の形態や生態を研究した。

菊池勘左エ門は昭和15年に佐渡の陸産貝類を富山博物学会誌第3号に詳報した。

黒田徳米は菊池が長年にわたって採集した佐渡島軟体動物の標品を同定し、昭和32年に佐渡産貝類（有殻軟体動物）目録を佐渡博物学会誌第1号に報告、陸産57種をあげている。戦後、陸産貝類の採集調査は県内外の人々によって盛に行われたが詳細は省略する。

菊池は最近佐渡の陸産貝類と題して3回にわたり、佐渡博物館々報に既知の種類を文献とともに詳報し69種をあげ佐渡島陸貝類の大集成報告とした。

最後に新潟県陸産貝類の分布相を一言しておく。県の位置が北方にある関係上寒区系の種類の存在は当然であるが、前述の如く対島海流の影響を受け南方温暖系のものも見られる。北方寒区系ではサドヤマキサゴ・ヤマボタルガイ・オウケマイマイ・エムラマイマイなど、南方温暖系ではサドギセル・サドヤマトガイ・エムラシイボルトコギセルなどがその例である。

つぎの新潟県陸産貝類目録は利用者の便をも考えて、黒田徳米の日本非海産貝類目録の配列にしたがい学名もこれに準じた。産地については旧市町村名をあげたものがある。これは戦後の併合で村名などが消失したものもあるが、旧行政区域は比較的小範囲だったので今後の採集や検討にも便利かと思ったからで他意はない。

また、佐渡の産地については菊池の目録をもそのまま利用させて頂いた。能生や胞姫神社などの社叢では村山均の採集品名をも借用した。記して両氏に謝意を表す。

昭和初年から現在までの調査中には陸貝集団の著しい推移と自然環境の変遷もある。これらについては目録の各項に解説を加えておくが、新潟市のオナジマイマイと勝木のエムラマイマイの激減、チャコウラナメクジの急増などは特記しておかねばならぬ。

この機会に著者が陸貝類研究の最初から今日まで常に種名の同定その他につき御教示を頂いた黒田徳米理学博士に厚く厚く御礼を申し上げます。また標品の採集調査に御教導と御協力を賜った恩師・先輩・知友の方々に感謝します。

新潟県陸産貝類目録

- Class GASTROPODA 腹 足 綱
 Subclass PROSOBRANCHIA 前 鰓 亜 綱
 Order Archaeogastropoda 原 始 腹 足 目
 Superfamily Neritoidea 蟹 小 舟 超 科
 Family Helicinidae ヤマキサゴ科
 Genus *Waldemaria* Wagner, 1905 ヤマキサゴ属
Waldemaria japonica (A. Adams), 1861 ヤマキサゴ
 var. *echigoensis* Pilsbry, 1903 エチゴヤマキサゴを含む
 日本特産種で A. Adams が安政6年10月山形県飛島で採集したこの貝に *Helicina japonica* と命名したもので(模式産地), 本州・四国・九州にわたり産す。
 岩船勝木・早川, 北蒲原黒川・二王子山, 西蒲原弥彦, 東蒲原白崎, 中魚沼秋成, 中頸城青海川・胞姫神社, 西頸城黒姫山, 佐渡入川・高下・杉野浦・真更川
 Genus *Hemipoma* Wagner, 1905 ハコダテヤマキサゴ属
Hemipoma hakodadiense sadoense (Pilsbry & Hirase), 1903 サドヤマキサゴ
 本属のものは北海道(ハコダテヤマキサゴ)以北と佐渡島だけに産する特殊分布を示す。本種は佐渡特産であるが波部はハコダテヤマキサゴの異名としている。
 佐渡外海府関(模式産地)金北山・達者・乙羽池
 Order Mesogastropoda 中 腹 足 目
 Superfamily Cyclophoroidea 山 田 螺 超 科
 Family Cyclophoridae ヤマタニシ科
 Genus *Japonia* Gould, 1859 ヤマトガイ属
Japonia sadoensis Pilsbry & Hirase, 1903 サドヤマトガイ
 本種はヤマトガイ属の北限分布地帯にあって, 伊豆・箱根以南の本州・四国・九州に産し佐渡は飛石的分布地帯となっている。
 佐渡新穂(模式産地)・宿根木・小木・両尾
J. citharella (Gould), 1859
 奄美群島産のもので, A. Adams は佐渡に報告している。
 Genus *Nakadaella* Ancey, 1904 ミジンヤマタニシ属
Nakadaella micron (Pilsbry), 1900 ミジンヤマタニシ
 北海道・本州・四国・九州・朝鮮・台湾など広く分布す。
 西蒲原角田山, 佐渡鷺崎・赤泊
 Genus *Chamalycaeus* Kobelt & Moellendorff, 1897 ムシオイガイ属
Chamalycaeus japonicus harimensis (Pilsbry), 1900 ハリマムシオイ
 播磨香島が模式産地で越前以西の本州と九州に分布する。
 佐渡高下
Ch. japonicus sadoensis (Pilsbry & Hirase), 1903 サドムシオイ
 佐渡島の特産種。
 佐渡小木・関
Ch. pilsbryi (Kobelt), 1902 ビルシムシオイ
 本州・四国・九州に分布す。

岩船勝木, 南蒲原田上, 中魚沼外丸, 西頸城青海・黒姫山, 佐渡北小浦

Genus *Palaina* Semper, 1865

Subgenus *Cylindropalaina* Moellendorff, 1897 ヒダリマキゴマガイ亜属

Palaina (*Cylindropalaina*) *pusilla* (Martens), 1877 ヒダリマキゴマガイ

北海道・本州・四国に分布し, 朝鮮・シベリヤにも産し, 新潟県下では各地に普通な微小左巻貝である。

岩船勝木, 南蒲原田上, 中魚沼外丸, 中頸城胞姫神社, 西頸城青海など, 佐渡島各地

Genus *Diplommata* Benson, 1849 ゴマガイ属

Subgenus *Sinica* Moellendorff, 1885 ゴマガイ亜属

Diplommata (*Sinica*) *collarifera tenuiplica* Pilsbry, 1900 オウウエゴマガイ

中国地方東部に産する種である。

岩船勝木 (飛石的分布?)

D. (S.) cassa Pilsbry, 1901 ゴマガイ

本州と四国東北部に分布する。

岩船勝木, 西蒲原弥彦・角田, 南蒲原田上, 刈羽宮川, 中魚沼外丸, 中頸城胞姫神社, 西頸城青海

D. (S.) uzenensis Pilsbry, 1900 ウゼンゴマガイ

奥羽地方の貝である。

佐渡羽二生

Superfamily Rissoidea 真小螺超科

Family Truncatellidae クビキレガイ科

Genus *Truncatella* Risso, 1826 クビキレガイ属

Truncatella pfeifferi Martens, 1861 キュウシュウクビキレガイ

var. *japonica* Pilsbry & Hirase, 1905 ヤマトクビキレガイを含む

瀬海性種で本州・四国・九州に分布す。

佐渡小木

Family Pomatiopsidae

Genus *Blanfordia* A. Adams, 1863 イツマデガイ属

Blanfordia japonica (A. Adams) 1861 イツマデガイ

(一名 サドオカメメタニシ, サドミゾマメタニシ)

福井以北の本州と北海道南部で知られている。

中頸城胞姫神社 (村山), 佐渡小木・宿根木・水津・片野尾・入川・高下・岩谷口・関

B. japonica simplex Pilsbry, 1902 ヒメオカメメタニシ

羽前・飛島・能登に産す。

佐渡全島

B. integra Pilsbry, 1924 ヤマメメタニシ

越中・箱根・伊吹山・出雲などから知られている。

西頸城能生

Genus *Fukuia* Abbott & Hunter, 1949 シブキツボ属

Fukuia kurodai Abbott & Hunter, 1949 ニクイロシブキツボ

溪流のしぶきのかかる場所を好んで棲む。

福井県から近時発見された新属新種で石川県にも産し青森県にも分布しているらしい。長岡市栖吉町鋸山花立峠で1969年8月に村山均氏等が採集し, その後同町不動滝附近でも発見された。

長岡市の本種は原種と肉体並びに貝殻型から亜種としたいという研究者もいる由である。

黒田の日本産非海産貝殻目録(1963)に *F. kikuchii* Kuroda(MS.) シブキモリイツマデガイがあるがこれは菊池勘左エ門が佐渡外海府矢柄で採集したものに仮に命名された。その後 G.M. Davis は生殖系、神経系その他の解剖学的研究の結果、佐渡のこの貝は七尾産の *Tricula minima* (Bartsch), 1936 ナタネミズツボに当るとし、更に解剖学上から転属し *Oncomelania minima* とした。佐渡での産地は外海府地方両津などが知られている。

Family Assimineidae カワザンショウガイ科

Genus *Paludinella* Pfeiffer, 1841 ヘソカドガイ属

Paludinella stricta (Gould), 1859 ウスイロヘソカドガイ

この類は波浪の飛沫のかかる海岸の岩上に棲息し、本州・四国・九州・沖縄に分布す。

佐渡小木・小川

P. japonica (Pilsbry), 1901 ヘソカドガイ

本州・四国・九州・朝鮮南部に分布す。

佐渡小木・願

Subclass PULMONATA

有 肺 亜 綱

Order Basommatophora

基 眼 目

Superfamily Ellobioidea

陸 耳 貝 超 科

Family Carychiidae

ケ シ ガ イ 科

Genus *Carychium* Müller, 1774

ケ シ ガ イ 属

Carychium noduliferum Reinhardt, 1877 スジケシガイ

本州・四国・朝鮮などに分布す。

岩船勝木、西蒲原弥彦、角田、刈羽(柏崎)宮川、佐渡小木

C. pessimum Pilsbry, 1902 ケシガイ

本州・四国・九州・奄美・沖縄・朝鮮などに広く分布す。

佐渡新穂・相川・金北山

C. nipponense Pilsbry & Hirase, 1904 ニホンケシガイ

本州と四国に知られている。

佐渡両尾・水津・野浦・小木

Order Stylommatophora

柄 眼 目

Superfamily Succinoidea

陸 物 洗 貝 超 科

Family Succineidae

オカモノアラガイ科

Genus *Succinea* Draparnaud, 1801

オカモノアラガイ属

Succinea lauta Gould, 1859 オカモノアラガイ

北海道、樺太から関東以北の本州に分布す。

柏崎、佐渡畑野・八幡・高下・相川・外海府・内海府・小木・赤泊・羽茂

Genus *Oxyloma* Westerlund, 1885 ナガオカモノアラガイ属

Oxyloma hirasei (Pilsbry), 1901 ナガオカモノアラガイ

関東地方を主とするが青森・九州等の記録もある。

新潟異人池、西蒲原四ツ合、柏崎

新潟市東大畑町カトリック新潟教会に接してその南側に異人池が昭和10年頃まであった。砂丘

3) Davis, G.M., Reproductive, Neural and Other Anatomical Aspects of *Oncomelania minima*. 1969. Venus 28.

の地下水が湧出してできた自然池で、池畔には草地や灌木のある斜面を含みいろいろの植物・動物が生育していた。本種もここで沢山見られたが、今は埋立てられて住宅地となる。

Superfamily Pupilloidea

蝸 貝 超 科

Family Cionellidae

ヤマボタルガイ科

Genus *Cionella* Jeffreys, 1829 ヤマボタル属

Cionella lubrica (Müller), 1774 ヤマボタルガイ

本州北部から北海道・千島の各地に分布す。

佐渡両尾

Family Vertiginidae

キバサナギガイ科

Genus *Vertigo* Müller, 1774

キバサナギガイ属

Vertigo eogea Pilsbry, 1919

ナタネキバサナギガイ

北海道・千島から本州・四国に産す。

佐渡両尾

V. eogea stagnalis Kuroda, 1941 ミズギワキバサナギガイ

黒田徳米が台北でホテイアオイ *water-hyacinth* の根元で発見した新亜種である。新潟ではアシの切穂中や水辺の草木に着生している。

新潟異人池・信濃川畔

Family Strobilopsidae

クチミゾガイ科

Genus *Strobilops* Pilsbry, 1893

Subgenus *Eostrobilops* Pilsbry, 1927 クチミゾガイ亜属

Strobilops (Eostrobilops) nipponica Pilsbry, 1927 マツシマクチミゾガイ

米沢市白布高湯 (1908), 群馬桃野 (1938) などから知られていたが 1954 年 本県からその後蔵王からも報告された。珍しい陸貝である。

中頸城赤倉・関見峠

Family Enidae

キセルモドキ科

Genus *Ena* Turton, 1831

キセルモドキ属

Subgenus *Mirus* Albers, 1850

キセルモドキ亜属

Ena (Mirus) japonica (Moellendorff), 1885 フトキセルモドキ

北海道・本州・四国・九州に分布す。

佐渡両尾・乙羽池

E. (M.) reiniana (Kobelt), 1875 キセルモドキ

本州・四国・九州に産す。

東蒲原白崎・西頸城青海・黒姫山

E. (M.) andersoniana (Moellendorff), 1885 クリイロキセルモドキ

var. *echigoensis* (Pilsbry & Hirase), 1903 エチゴキセルモドキを含む。

北海道から本州中部まで産する貝である。

中頸城妙高山麓, 佐渡外海府・金北山・両尾

Superfamily Clausiloidea

煙 管 貝 超 科

Family Clausiliidae

キセルガイ科

Genus *Zaptyx* Pilsbry, 1900

ノミギセル属

Subgenus *Paganizaptyx* Kuroda, 1945 スグヒダギセル亜属

Zaptyx (Paganizaptyx) sadoensis (Pilsbry), 1903 サドギセル

佐渡島特産のもので小佐渡に多い。菊池はスグヒダギセル *Z. (P.) strictaluna* (Boettger), 1877の地方型としている。

佐渡小木、宿根木、羽茂、赤泊、二見、達者（樋熊）

Genus *Hemiphaedusa* Boettger, 1877 タイワソツムガタギセル属

Subgenus *Pinguiphaedusa* Kuroda & Habe, 1949 ツムガタギセル亜属

Hemiphaedusa (Pinguiphaedusa) pinguis platyauchen (Martens) 1877 ツムガタモドキギセル
奥羽から近畿に分布す。ツムガタギセル *H. (P.) pinguis platydera* (Martens), 1876 が本県内に分布するという学者もある。

岩船勝木・桑川・鷹之巣、北魚沼銀山平浪拝（奥只見ダムの湖底となった）、中魚沼秋成、中頸城胞姫神社（村山）、西頸城能生・明星山（村山）佐渡赤泊・赤玉・羽二生

Genus *Mundiphaedusa* Kuroda & Habe, 1949 チュウゼンジギセル属

Subgenus *Mundiphaedusa* s.s. チュウゼンジギセル亜属

Mundiphaedusa (Mundiphaedusa) kuninoae (Kuroda), 1936 クニノギセル

中魚沼郡津南町秋成に妹故桑原クニノの墓所がある。その附近で採集した新種のキセルガイに対して黒田徳米が献名して下さった。わかりにくい学名と和名なので解説しておく。

中魚沼秋成

M. (M.) discrepans Kuroda & Habe, 1953 キヌハダギセル

一名ナガギセル、新潟・群馬などで知られている。

西頸城明星山（村山）

Subgenus *Vitriphaedusa* Kuroda & Habe, 1949 ヒメギセル亜属

M. (Vitriphaedusa) micropeas (Moellendorff), 1882 ヒメギセル

一名ウゼンヒメギセル、奥羽から関東・信越に産す。

岩船勝木・鷹之巣・村上・粟島、東蒲原津川、西蒲原弥彦、中頸城胞姫神社、西頸城能生、佐渡関、松ヶ崎

Subgenus (?) *Stereophaedusa* Boettger, 1877 オキナワギセル属

Stereophaedusa japonica (Crosse), 1871 ナミギセル

syn. *interplicata* Pilsbry, 1901 オウウナミギセルなど

var. *echigoensis* (Pilsbry), 1903 エチゴギセルを含む

本州・四国・九州北部に分布す。

岩船勝木・桑川・村上・湯沢・鷹之巣・粟島、中蒲原十全、西蒲原弥彦、南魚沼中之島、中頸城胞姫神社・妙高山・春日山、西頸城能生・明星山（村山）

Genus *Phaedusa* H. & A. Adams, 1855 アジアギセル属

Subgenus *Euphaedusa* Boettger, 1877 コギセル亜属

Phaedusa (Euphaedusa) tau (Boettger), 1877 ナミコギセル

関東・近畿・中国・四国・九州など広く分布す。

佐渡下久和・片野尾

P. (E.) stimpsoni (A. Adams), 1868

A. Adams が対島と粟島から記録す。

P. (E.) digonopyx (Boettger), 1877 オオタキコギセル

奥羽以西の本州に分布す。

岩船勝木・村上・粟島、中蒲原十全、西蒲原弥彦、刈羽宮川・西頸城能生、佐渡関・高下・小木・松ヶ崎・片野尾・羽二生

Subgenus *Pseudonenia* Boettger, 1877 シイボルトコギセル亜属

Phaedusa (*Pseudonenia*) *sieboldi emurai* Kuroda & Hukuda, 1944 エムラシイボルトコギセル
シイボルトコギセルは九州と中国西部等に産する種類で、本亜種の分布は原種と著しく飛石的
でその他の点からも区別され能生が模式産地である。

西頸城能生

Superfamily Achatinacea

アフリカ蝸牛超科

Family Subulinidae

オカチウジガイ科

Genus *Allopeas* H. B. Baker, 1935 オカチウジガイ属

Allopeas brevispira (Pilsbry & Hirase), 1904 マルオカチウジガイ

本州・四国・九州に産す。

岩船勝木・栗島・中魚沼秋成

A. clavulinum kyotoense (Pilsbry & Hirase), 1904 オカチウジガイ

北海道・本州・四国・九州・朝鮮・台湾・支那などに広く分布す。

佐渡全島

A. pyrgula (Schmacker & Boettger), 1891 ホソオカチウジガイ

北海道・本州・四国・九州・小笠原・沖縄・台湾・支那などにおよぶ。

新潟、加茂、佐渡全島

Superfamily Endodontoidea

円座貝超科

Family Discidae

パツラマイマイ科

Genus *Punctum* Morse, 1864

ナタネガイ属

Punctum japonicum Pilsbry, 1900 ハリマナタネ

本州中部以西から四国まで知られている。

佐渡両尾宇賀神

Genus *Discus* Fitzinger, 1833

パツラマイマイ属

Discus pauper (Gould), 1859 パツラマイマイ

本州以北・北海道・千島・樺太・朝鮮・シベリア・カムチャッカなどの北区に広く産す。

佐渡全島

Superfamily Zonitoidea

琥珀蝸牛超科

Family Zonitidae

Genus *Hawaiiia* Gude, 1911

ヒメコハクガイ属

Hawaiiia minuscula (Binney), 1840 ヒメコハクガイ

北米原産のもので太平洋沿岸に広く分布し、わが国では北海道・本州・四国・九州・小笠原な
どで知られている。

佐渡下久知

Genus *Zonitoides* Lehmann, 1862

オオコハクガイ属

Zonitoides yessoensis (Reinhardt), 1877 オオコハクガイ

北海道と本州中部以北で知られている。

西蒲原弥彦、中魚沼外丸、佐渡高下

Subgenus *Zonitellus* Baker 1928

コハクガイ亜属

Zonitoides (*Zonitellus*) *arboreus* (Say), 1817 コハクガイ

移入種で北海道・本州・四国・九州に分布している。

新潟、西蒲原四ッ合、佐渡小木城山

Family Philomycidae

Genus *Philomycus* Férussac, 1821Subgenus *Incilaria* Benson, 1842 ナメクジ亜属*Philomycus* (*Incilaria*) *bilineatus* (Benson), 1842 ナメクジ

日本各地に普通の種で、本県下でも各地に分布す。

P. (I.) fruhstorferi Collinge, 1901 ヤマナメクジ

各地方の山地に産する大形種である。

Family Limacidae

コウラナメクジ科

Genus *Limax* Linné, 1758

コウラナメクジ属

Limax flavus Linné, 1758 キイロナメクジ

一名コウラナメクジ。外来種で人家近くに住み時に非常に多発生する。昭和初年頃には県下各地の人家台所などに多く、駆除にこまったこともあったが、近時は比較的に発生がすくない。

Subgenus *Lehmannia* Heynemann, 1863*L. (Lehmannia) marginatus* Müller, 1774 チャコウラナメクジ

昭和30年頃に波部忠重が京都大学瀬戸臨海実験所で注目した外来種で、その後全国に急速に広がったようだ。新潟市では人家の庭園や植木鉢の底などによく繁殖し花木などの被害も多い。

Genus *Deroceras* Rafinesque, 1820 ノナメクジ属*Deroceras varians* (A. Adams), 1868 ノナメクジ

一名ノコウラナメクジ、小型種で各地によく見られる。

ナメクジ類には分類学的にも生理・生態学的にも未知の点が多い。上記の種のほかに佐渡島には大型の黒色種が産するし、越後の山地には黄褐色の *Philomycidae* が見られる。何れも今後の研究にまつものである。

Superfamily Helicarionoidea (Helixarionacea) 鼈甲蝸牛超科

Family Helicarionidae (Helixarionidae)

ベッコウマイマイ科

Genus *Trochochlamys* Habe, 1946 カサキビガイ属*Trochochlamys xenica* (Pilsbry & Hirase), 1903 サドタカキビ

奥羽地方に分布する。

佐渡宿根木（模式産地）

T. crenulata (Gude), 1900 カサキビ

本州・四国・九州・朝鮮に産す。

佐渡宿根木・小木・多田・庭場・月布施・羽二生・両尾・二見・金北山・高下・五十浦

T. fraterna (Pilsbry), 1900 オォウエキビ

一名オォカミキビ、本州・四国・九州に分布す。

佐渡二見・月布施・羽二生・両尾

Genus *Parakaliella* Habe, 1946

ハリマキビ属

Parakaliella kagaensis (Pilsbry & Hirase), 1902 カガキビ

本州山岳地帯の貝である。

佐渡両尾

P. harimensis (Pilsbry), 1901 ハリマキビ

本州・四国・九州に産す。

佐渡小木城山

P. harimensis sadoensis (Pilsbry & Hirase), 1903 サドキビ

佐渡島特産で宿根木（模式産地）・小木城山

P. pagoduloides (Gude), 1900 ヒメハリマキビ

本州・四国に産する貝である。

佐渡小木沢崎

Genus *Gastrodontella* Moellendorff, 1901 キビガイ属

Gastrodontella multivolvis (Pilsbry), 1900 キビガイ

本州・四国・九州・朝鮮に分布す。

佐渡赤泊

Genus *Discoconulus* Reinhardt, 1883 ヒメベッコウ属

Discoconulus sinapidium (Reinhardt) 1877 ヒメベッコウガイ

本州・四国・九州・台湾・朝鮮に分布す。

中頸城胞姫神社（村山）、佐渡小木城山・沢崎

D. yakuensis (Pilsbry), 1902 ヤクシマヒメベッコウ

本州・四国・九州に産す。

佐渡相川・高下・赤泊・小木城山・沢崎

Genus *Sitalina* Thiele, 1931 コシタカシタラガイ属

Sitalina circumcincta (Reinhardt), 1883 コシタカシタラガイ

本州・四国・九州に分布す。

佐渡相川・新穂・小木・庭場・水津・鷺崎

Genus *Parasitala* Thiele, 1931 マルシタラガイ属

Parasitala reinhardti (Pilsbry), 1900 マルシタラガイ

本州・四国・九州に産す。

佐渡（平瀬）

Genus *Yamatochlamys* Habe, 1945 ナミヒメベッコウ属

Yamatochlamys vaga (Pilsbry & Hirase), 1904 ナミヒメベッコウ

一名バガヒメベッコウ、本州・四国に産す。

佐渡高下

Genus *Pseudhelicarion* Moellendorff, 1898 タイワンベッコウガイ属

Subgenus *Petalochlamys* Godwin-Austen, 1907

Pseudhelicarion (*Petalochlamys*) *dulcis* (Pilsbry), 1902 オオヒラベッコウ

本州の貝で模式産地は紀南。

西頸城青海

Genus *Urazirochlamys* Habe, 1946 ウラジロベッコウ属

Urazirochlamys doinitzii (Reinhardt), 1877 ウラジロベッコウ

本州・四国・九州に分布している。

西蒲原弥彦、中魚沼秋成、中頸城胞姫神社、西頸城青海、佐渡片野尾・羽二生・両尾・鹿伏

Genus *Nipponochlamys* Habe, 1945 ハクサンベッコウ属

Nipponochlamys semisericata (Pilsbry), 1902 キヌツヤベッコウ

本州中部以西・四国に産す。

佐渡金北山

N. obtusa (Westrlund), 1883 ハクサンベッコウ

中部以北の本州に産す。

岩船勝木, 南蒲原田上, 西蒲原弥彦, 佐渡高下

Genus *Japanochlamys* Habe, 1946 クリイロベッコウ属

Japanochlamys cerasina (Pilsbry), 1902 クリイロベッコウ

関東以北の本州

中頸城胞姫神社, 佐渡金北山・小川

Superfamily Helicoidea

蝸 牛 超 科

Family Camaenidae

ナンバンマイマイ科

Genus *Satsuma* A. Adams, 1868

ニッポンマイマイ属

Subgenus *Satsuma* s.s.

ニッポンマイマイ亜属

Satsuma (Satsuma) fusca (Gude), 1900

コシタカコベソマイマイ

本州の信越・近畿に分布す。

西蒲原弥彦, 中魚沼外丸, 東頸城小黑・菱里, 中頸城春日山, 西頸城能生 (能生には臍孔のある個体あり・変種とも考えられる)。

S. (S.) japonica (Pfeiffer), 1847

ニッポンマイマイ

vars. *granulosa* Pilsbry, 1902

ヌノメニッポンマイマイ

carinata Pilsbry & Gulick, 1902

カドバリニッポンマイマイ等を含む

本州各地に産す。

岩船勝木・早川・湯沢・鷹之巢・粟島, 北蒲原二王子山・赤谷, 中蒲原十全・村松, 東蒲原津川, 西蒲原弥彦・越前浜, 南蒲原田上, 保内, 長岡悠久山, 南魚沼六日町, 北魚沼銀山平浪拝, 中魚沼秋成・外丸, 東頸城安塚・小黑・菱里, 中頸城春日山, 刈羽宮川, 三島寺泊, 西頸城能生, 佐渡金泉・相川・二宮・金沢・真野・小木・赤泊・水津・羽二生・外海府・乙羽池

Genus *Trichoeloris* Pilsbry, 1891 ピロウドマイマイ属

Trichoeloris fragilis (Gude), 1900 ケハダピロウドマイマイ

本州の中部・近畿に寡産す。

北蒲原黒川, 東蒲原津川, 北魚沼郡殿の池, 中魚沼外丸, 中頸城春日山, 佐渡小木・羽茂・赤泊・羽二生・乙羽池

T. bracteatus (Pilsbry), 1902 エゾピロウドマイマイ

奥羽地方の貝で北海道にも産するか。

岩船粟島

Family Bradybaenidae

オナジマイマイ科

Genus *Aegista* Albers, 1850

オオベソマイマイ属

Aegista proba yahikoensis Kuroda (MS.), ヤヒコヒロベソマイマイ

西蒲原弥彦, 東頸城小黑, 中頸城春日山

Aegista proba mimula Pilsbry, 1901 コオオベソマイマイ

北蒲原二王子山

Subgenus *Plectotropis* Martens, 1860 ケマイマイ亜属

Aegista (Plectotropis) vulgivaga (Schmacker & Boettger), 1890 オオケマイマイ

本州中部以西から四国に分布する。

中蒲原十全, 南魚沼六日町, 刈羽新道, 中頸城胞姫神社・青海川, 西頸城青海・能生・黒姫山, 佐渡 (中村氏目録)

A. (P.) pannosa (Pilsbry), 1902 オウケマイマイ

vulgivaga var.? 奥羽地方の貝である。

岩船勝木・湯沢・鷹之巣、東蒲原津川・白崎、中魚沼外丸

A. (P.) pannosa awashimana (Pilsbry & Hirase), 1904 アワシマケマイマイ

オウケマイマイの島嶼型で岩船郡粟島の特産である。

A. (P.) setocincta (A. Adams), 1868

A. Adams が佐渡島と粟島とから報告している。

A. (P.) scabricula (A. Adams) 1868

A. Adams が粟島から報告した貝である。

A. (P.) omiensis (Pilsbry) 1902 オウミケマイマイ

本州中部（富山・石川・福井・滋賀）に産す。

西蒲原弥彦

Genus *Trishoplita* Jacobi, 1898 オトメマイマイ属

Trishoplita commoda (A. Adams), 1868 マメマイマイ

本州中部以北から北海道に分布す。

岩船粟島、西蒲原弥彦・角田、佐渡沢崎・大浦・相川

T. mesogonia Pilsbry, 1900 チャイロオトメマイマイ

本州中部以西に分布する貝である。

中魚沼秋成・外丸、西頸城青海・能生

Genus *Bradybaena* Beck, 1837 オナジマイ属

Bradybaena similis (Férussac), 1822 オナジマイマイ

移入種で最初 Timor 島から報告され、現在では世界中に拡がっている。わが国でも本州・四国・九州の各地に分布し北海道は南部に産す。

五泉、新潟・新崎・内野、三島寺泊、柏崎・宮川、長岡、直江津、西頸城能生・青海、佐渡高千・金泉・相川・新町・赤泊・河原田・小木・下久知・河崎・北鶴島

新潟市内には昭和初年から新潟大火災（昭和30年10月1日）の頃までは人家の庭・墓地その他の空地に饒産した。新潟大地震（昭和39年6月16日）の頃から減少しはじめ、地震の影響のほとんどなかった市の中心部の墓地などでも発見採集がほとんど不能となった。この従前の多産地に生存困難となったのは他の有肺類との競争に破れたのか、戦後多く使用されている農薬などのためか、今後調査の予定である。

Genus *Fruticicola* Held, 1838

Subgenus *Acusta* Martens, 1860 ウスカワマイマイ亜属

Fruticicola (Acusta) despecta sieboldiana (Pfeiffer), 1850 ウスカワマイマイ

本州・四国・九州に広く分布す。

岩船粟島・村上、東蒲原津川、新津、新潟・坂井輪・内野、西蒲原間瀬・四ッ合、長岡、柏崎、栃尾、中魚沼外丸、南魚沼六日町、北魚沼川口、三島寺泊、東頸城安塚、中頸城津有・春日山西頸城能生・梶屋敷・青海、佐渡金泉・八幡・赤泊・加茂・二宮・畑野・小木

Genus *Euhadra* Pilsbry, 1890 マイマイ属

Euhadra sadoensis (Pilsbry & Hirase) 1903 サドマイマイ

佐渡島特産種で介殻学上からも生殖器官の形態からも、日本産蝸牛類の各種との類縁関係不明のものである。分布も佐渡西北方外海府に限られた地域に限定されている。近時、乱採集の結果か、個体数が著しく減少した。

佐渡笠取峠・真更川・北鶴島・願

E. senckenbergiana (Kobelt), 1875 var. コシノナミマイマイ（新称）

クロイワマイマイの低地型と思われる大型右巻蝸牛が県下各地に飛石的に分布している。仮にコシノナミマイマイと呼んでおく。*E. senckonbergiana notoensis* Kuroda & Teramachi, 1937 ノトマイマイと *E. aomoriensis* (Gulick & Pilsbry), 1900 アオモリマイマイとの移行型かも知れない。中村氏の新潟県天産誌の *Euhadra peliomphala* ミスジマイマイはこの型を呼んだのかも知れない。

岩船湯沢、北蒲原二王子山、刈羽鶴川、東頸城安塚、西頸城能生・黒姫山

E. brandtii (Kobelt), 1875 ヒタチマイマイ

関東・信越以北の貝で、亜種のオゼマイマイを含めて、県下では飛石的に分布する。

岩船湯沢、東蒲原津川、白崎、南蒲原長沢、北魚沼銀山平浪拝（奥只見湖底となる）、中魚沼外丸、上郷、中頸城九戸浜・胞姫神社、西頸城能生・青海・黒姫山、佐渡真更川・高千・金泉・小木

中頸城九戸浜は昭和30年頃多産だったが道路改修人家の増加などで今は減少した。佐渡外海府跳坂大ザレ川間の段丘上には非常に小型のものを産す。

E. quaesita (Deshayes), 1850 ヒダリマキマイマイ

syn. *perryi* Jay, 1857

var. *montium* (Martens), 1879 チャイロヒダリマキマイマイを含む

本州中部以北に産し北海道にも記録がある。本県では最も普通の大型蝸牛で、左巻の貝殻を有す。

岩船勝木・桑川・早川・湯沢・鷹之巣・粟島・村上、北蒲原木崎・赤谷・黒川・大日原・二王子山・新発田、東蒲原五十島・白崎・津川、中蒲原石山・鳥屋野・十全・五泉・新津、新潟・関屋・坂井輪・内野、西蒲原四ツ合・角田・弥彦・間瀬、南蒲原田上・長沢、栃尾、長岡、三島寺泊、南魚沼六日町・中之島、中魚沼外丸・秋成・北魚沼入広瀬、柏崎・宮川・桐原、東頸城安塚・菱里・小黑、中頸城胞姫神社・津有・直江津・九戸浜、西頸城能生・梶屋敷・青海、佐渡外海府・金泉・八幡・加茂・二宮・新町・金沢・畑野・河原田・相川・小木・赤泊

E. grata emurai Kuroda, 1931 エムラマイマイ

オオタキマイマイ *Euhadra grata* (Gude), 1900 とその亜種は本州東北部の日本海側に分布する左巻蝸牛である。本亜種は新潟県北部で人工のほとんど加わらない自然林を好んで生活している美しい蝸牛で北緯38度線以北に見られる。

岩船勝木・笹川流・北蒲原黒川・宮久・広川原・蔵王山・奥三

模式産地は勝木宮堅八幡宮社叢である。発見当時から戦後までは饒産していたが近時著しく減少し絶滅に傾している。この森は新潟地震（1964）の際に崖崩れと2—3の亀裂はあったが社叢そのもには大被害がなかったし、附近水田農薬の影響などもあまり考えられないので、本亜種の勝木での減少は乱獲が主因かと思うが自然林に観光客などの立入も無関係ではなからう。

主 要 文 献

馬場菊太郎・滝庸・滝巖, 1966: 原色動物図鑑・3, 北隆館

馬場菊太郎・渡部忠重・黒田徳米・滝巖, 1967: 新日本動物図鑑 中, 北隆館

江村 重雄, 1931: 飛島の陸産及び淡水産貝類・Venus, 3

- | | | |
|---|------------------------|-----------------|
| 〃 | 1932: 新潟県産陸棲貝類・自然研究, 1 | 新潟高等学校(旧制)博物同好会 |
| 〃 | 1933: 越後粟島の貝類・同 | 2 同 |
| 〃 | 1936: 北海道地方の陸産貝類・同 | 5 同 |
| 〃 | 1952: 中津川流域の陸産貝類・中津の自然 | |

- 渡部 忠重・伊藤 潔, 1965: 原色世界貝類図鑑・1, 保育社
- 渡部 忠重, 1969: 続原色日本貝類図鑑・保育社
- 平瀬信太郎, 1934: 天覧成績品目録, 貝類之部, 群馬県
- 平瀬与一郎, 1907~1915: 介類雑誌・1—4
- 菊池勘左エ門, 1940: 佐渡の陸産貝類・富山博物学会誌 3
- “ 1940: 富山県の陸産貝類目録・同 4
- “ 1965~1967: 佐渡の陸産貝類 1・2・3, 佐渡博物館報 13~16
- “ 1968: 佐渡の陸産貝類について・新潟の自然 1
- 吉良 哲明, 1969: 原色日本貝類図鑑 保育社
- Komai T. & S. Emura, 1955: a Study of population genetics on the polymorphic Land Snail *Bradybaena similaris*・Evolution, 9
- 黒田 徳米, 1930: 小笠原の陸産及び淡水産貝類・日本生物地理学会会報, 1
- “ 1931: 奈良春日山の貝類・地球, 15
- “ 1933: 福井県産貝類目録・福井県
- “ 1934: 日光貝類採集記・地球, 22
- “ 1935: 宮崎県産貝類目録・宮崎県
- “ 1957: 佐渡産貝類(有殻軟体動物)目録・佐渡博物学会誌, 1
- “ 1959: かたつむり「マイマイ属」の話・自然科学と博物館, 26
- “ 1960: 沖縄群島産貝類目録・琉球大学
- “ 1963: 日本非海産貝類目録・日本貝類学会
- 黒田 徳米・木場 一夫, 1933: 北千島産貝類・日本生物地理学会会報, 4
- 黒田 徳米・渡部 忠重, 1949: かたつむり・三明社
- Kuroda T., 1931: Three New Forms of *Euhadra*・Venus, 3
- 黒田徳米氏等の新貝類は日本貝類学会の Venus (1928—現在) に多く公表されている。
- Kuroda T., 1941: A Catalogue of molluscan shells from Taiwan (Formosa), with descriptions of new Species・Mem. Fac. Sci. and Agri. Taiwan Imp. Univ. 22
- 中村 正雄, 1925: 新潟県天産誌・
- Pilsbry H.A., 1927—28: Review of Japanese Land Mollusca 1—2・Proc. Acad. Nat. Sci. Philadelphia 79. 80.
- その他 Pilsbry 及び Pilsbry & Hirase の新貝類の原記載は本誌または Nautilus に多く発表されている。
- 高橋 五郎・岡本 正農, 1948: 福岡県産貝類目録・福岡博物同好会
- 滝 巖, 1939: 広島県産貝類目録・広島県
- 矢倉和三郎, 1932: 兵庫県産貝類目録・
- 横山又次郎, 1931: Catalogue of Marine, Freshwater and Land Shells of Japan in the Mineral Museum of the Imperial Geological Survey of Japan・東京地学協会